

総務政策審議会では、昨年度「公共交通問題」についての調査研究を行い、3月議会で執行部への提言を行いました。全市域にわたるデマンド交通の導入が準備されているが、その推移を見守りつつ、市民の皆さんにとって使い勝手の良い公共交通手段となるよう、今後とも市民の声に耳を傾け、住みよい香取市作りに向け力を合わせていきたいと思います。

そして今年度の調査研究課題は「投票率の向上について」ということに決まりました。先般の市議会議員選挙の投票率は45%という低さでした。市民にとって一番身近であるはずの市議会議員選挙が、50%以下という事に危機感を感じ、これまでの投票率の推移、低下の原因を探り、向上に向けた施策を見出していただけたと願っています。

来年早々には、千葉県知事選挙と県議補選があるため、選舉管理委員会の都合から、12月議会には提案ができるようになりますが、市民の皆さんとの意見交換の場も設けたいとの意見も出ていますので、皆様のご参加を期待しております。

6月9日、小見川市民センター3階の小ホールにおいて、小見川中央地区まちづくり協会で執行部への提言を行いました。

議会主催の公開講座が開催されました。

小見川の素晴らしい自然環境、文化に魅了されて小見川に転居され、40年間小見川の自然観察を続けてこられた水越先生が実際に撮影された写真を交えて、(1)美しい小見川の四季 (2)小見川の美しさの秘密 (3)小見川の自然を残すためにという講演をして下さいました。

特に、小見川の美しさの秘密、原因を4つの視点から説明され、照葉樹林(鎮守の森)は数百年以上の守り続けられてきた貴重な自然遺産(野生植物の視点)

小見川は豊かな水郷地帯にある小見川は野生動物にとっても楽園で、渡り鳥の重要な中継地となっている。昨年は鳴門市生まれのコウノトリが飛来し、行き来するチュウシャクシギは小見川を中継地として選んでくれているそうです。(野生動物の視点)

小見川には多くの縄文時代の貝塚が発見されている。小見川の台地上や台地斜面に住んでいた縄文人は、一万年以上の長期にわたり自然と一緒に生活をしていたと考

る。利根川の東邊を経て、戸時代以降の低地は水田になり里山生活に変化していったが、小見川は自然と一体となり里海里山生活を守ってきたことによって現在の豊かな自然環境が保たれてきたと考えられるのこと(人間の視

小見川の城ノ台貝塚から発掘された縄文時代早期の土器が上野の国立博物館に展示され

最後に、目まぐるしく変化する現代社会から小見川の豊かな自然環境を残していくため

に、水越先生は世界と日本の現状を人間の行動を左右する思想の面から検討されました。

日本人の自然崇拜、祖靈崇拜の思想は、縄文時代の自然と一体の生活から生まれた思想であり、西洋の、人が自然

を支配するという人間中心の思想とは異なる。彼らは科学

革命、産業革命、市民革命、情報革命等を経て自然を破壊し続けた結果、地球温暖化に直面する都市化された現代社会を作ってきた。

近代日本においても同様の傾向を辿つてきているが、小見川における自然環境の保持は

多くの地元の皆様が活動をしていましたと考

る。利根川の東邊を経て、江戸時代以降の低地は水田になり里山生活に変化していったが、小見川は自然と一体となり里海里山生活を守ってきたことによって現在の豊かな自然環境が保たれてきたと考えられるうこと(人間の視

性の観点から里地里山の保全・活用の一環として国連大学と協力して世界へのアピールも進めていて、2022年のCOP15において30 by 30(2030年までに自然共生サイトを地球の30%まで増加させることで、自然の保護・保全を目指す)が締結された。

(講演資料より抜粋)
そのような国際的な流れの中で、水越先生は、小見川の里山が世界のIUCNに登録されることを願っていると夢のあるお話をされ、小見川の自然環境を改めて見直す機会となつた。

このような郷土に生まれ育っている事、そしてその素晴らしい環境を保持していくためにも、教育の大切さを感じました。そこで教育委員会の素早い動きにより7月2日には小見川西小学校において、水越先生の特別授業が行われました。

11月8日には小見川中央小学校において、オープンスクール(地域に開かれた授業)で水越先生に講演をお願いすることになりました。

是非皆さんとも面白い先生の講演を受講されることをお勧めします。



読書日本一を目指す守山市図書館も限研吾設計で、木をふんだんに使った広々とした1FロビーにはPM9時まで貸し出される多目的ホールやおしゃれなカフェが。



河野議員の講会報告 そして書で語る会

市民参加
カフエを開催します



日時、令和6年8月10日(土)
PM2:00~4:00

場所、小見川市民センター
101号室

皆さんの御参加をお待ちしています